

第6回一関市総合教育会議

日 時 平成29年11月21日(火) 9時45分～11時45分
場 所 一関市立山目小学校

次 第

(視察) A L T 授業

1 開会

2 挨拶

3 懇談 ①

グローバル化に対応した教育環境の整備について (学校教育の取組)

4 事例紹介

5 懇談 ②

グローバル化に対応した教育環境の整備について (社会教育の取組)

6 閉会

一関市教育に関する大綱

【基本目標】

学びを広げ、人と地域が共に育ち、一関の未来を創る

【基本方針】

- 1 生涯にわたる学びを応援し、まちづくりを担い、活躍する人づくりを進める
(縦軸の人づくり)
- 2 学校・家庭・地域の連携を深め、心豊かにたくましく生きる人づくりを進める
(横軸の人づくり)
- 3 郷土の歴史と文化を誇りにし、未来を創造する人づくりを進める
(時間軸の人づくり)

第6回一関市総合教育会議 出席者名簿

職		氏名	備考
【構成員】			
市長		勝部 修	
教育委員会	教育長	小菅 正晴	
	委員	千葉 和夫	
	委員	佐藤 一伯	
	委員	伊藤 一志	
【事務局等】			
市長公室	市長公室長	熊谷 雄紀	
	政策企画課長	佐藤 正幸	
	政策企画課主幹	佐藤 マチ子	
	政策企画課 政策企画係長	宍戸 勝幸	
まちづくり推進部	まちづくり推進部長	佐々木 裕子	
	まちづくり推進部次長 兼いきがづくり課長	佐川 伸	
	まちづくり推進課	横山 圭	
教育部	教育部長	中川 文志	
	一関図書館長	千葉 秀一	
	教育部次長 兼学校教育課長	小山 祐二	
	教育総務課長	佐藤 鉄也	
	文化財課長 兼骨寺荘園室長	佐藤 武生	
	一関市博物館次長	千葉 浩	
	教育総務課長補佐 兼庶務係長	中田 善久	
	指導主事	和賀 真樹	

学校での英語教育の現状や、小学校からの英語教育などの新学習指導要領の改訂などを話題に、外国語に触れられるためのアプローチや、グローバル化に対応した教育環境の整備などについて、意見交換する。

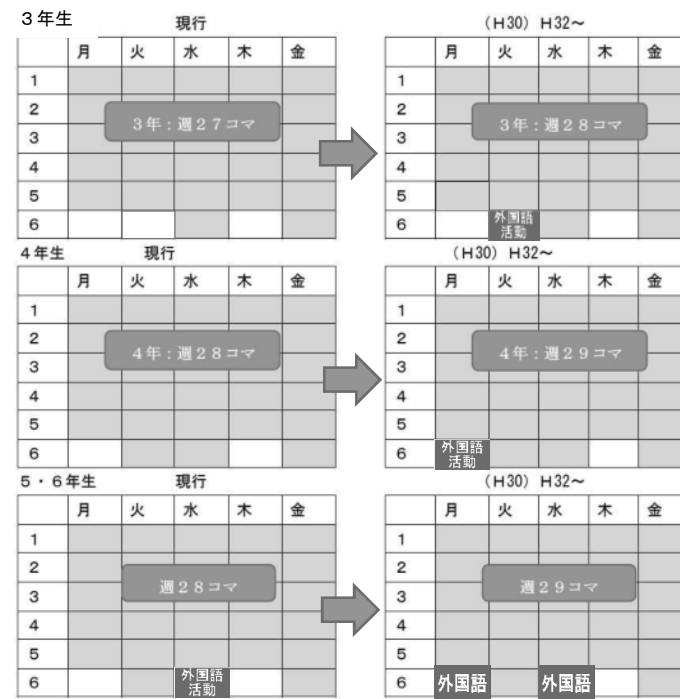
外国語教育について

○次年度以降の小学校英語教育について

小中学校学習指導要領改訂のポイント

教育内容の主な改善事項

- ☆ 言語能力の確実な育成
- ☆ 理数教育の充実
- ☆ 伝統や文化に関する教育の充実
- ☆ 道徳教育の充実→先行する道徳の教科化
(小：30年4月、中：31年4月)
- ☆ 体験活動の充実
- ☆ 外国語教育の充実
→小学校において、中学年で「外国語活動」を高学年で「外国語（英語）」を導入
→小学校外国語教育の充実に当たっては、新教材の整備、研修、**外部人材の活用**などの条件整備を行い支援
→小中高一貫した学びを重視し、外国語能力の向上を図る目標を設定するとともに、国語教育との連携を図り**日本語の特徴やよさに気づく指導**の充実



小学校外国語 週時数の変更のイメージ

グローバル化に対応した新たな英語教育に向けて

小学校中学年	活動型・年間35単位時間 ・コミュニケーション能力の素地を養う ・学級担任を中心に
小学校高学年	教科型・年間70単位時間 ・初歩的な英語の運用能力を養う ・英語指導力を備えた学級担任に加えて専科教員の積極的活用
中学校	・身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる能力 ・授業を英語で行うことを基本とする
高等学校	・幅広い話題について抽象的な内容を理解できる、英語話者と流暢にやりとりできる能力を養う ・授業を英語で行うとともに、言語活動を高度化（発表・討論・交渉等）

<英語教育の方向性>

- ・ 英語によるコミュニケーション能力の育成
- ・ 日本人としてのアイデンティティ形成に関する教育の充実

○教員の英語力の現状について

(1) 小学校教員 (H28 調査人数：444人) ※校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、常勤講師	(2) 中学校 (H28 調査人数：38人) ※英語科教諭
英語免許を所有する小学校教員数 31人	海外留学経験者 (1か月以内) 7人
海外留学経験者 (1か月以内) 5人	(1か月～半年) 3人
英語検定準1級レベル取得者 1人 (TOEIC, TOEFL 含む)	(半年～1年) 1人
	英語検定準1級レベル取得者 9人 (TOEIC, TOEFL 含む)

○ALTの活用について

(1) 外国語指導助手学校訪問事業

- ・ 直接雇用3名、派遣契約10名での学校訪問配置
- ・ 各市立幼稚園・子ども園へ最大年3回までの訪問
- ・ 市内私立幼稚園へのALT訪問（希望する園へ年1回）
- ・ 各小学校への年35回（大規模校70回）の訪問

<他市ALT配置状況>

	ALT人数	小学校数	中学校数	児童	生徒	児童生徒総数	ALT1人あたりの学校数	ALT1人あたりの児童生徒数
A市	7	42	24	14452	7389	21841	9.4	3120
B市	5	19	11	4667	2640	7307	6.0	1461
C市	4	17	9	5155	2663	7818	6.5	1955
D市	6	27	10	5694	3125	8819	6.2	1470
一関市	13	33	17	5605	2986	8591	3.8	661

(2) 「ALT NEWS」の発行

- ・ 一関や海外における文化・慣習・価値観の違いや、英語授業における活動アイデア例など、様々なテーマに関する外国人の声を集めた広報誌の発行
- ・ 英語教育・国際理解教育・復興教育における補助教材としての活用

(3) ALT研修会の実施（年1回）

- ・ 小中接続を意識した英語指導及び英語指導力全般の向上を図るためのALT研修会の実施

グローバル化に対応した教育環境の整備について

○外国にルーツをもつ児童生徒への教育支援

(1) 一関市外国にルーツをもつ児童・生徒に関する状況調査の実施（H28 調査）

外国に通じる児童生徒数	225	→	韓国	13	母親の出身国	韓国	1
上記のうち外国籍児童生徒数	3		フィリピン	116		フィリピン	0
小学校2人(バキスタン)、中学校1名(フィリピン)		中国	66	中国		0	
		タイ	2	ラオス		2	
		ルーマニア	2	メキシコ		1	
		ポーランド	1	アメリカ		3	
		バキスタン	2	バキスタン		2	
		ミャンマー	1	ブラジル		3	
		インドネシア	2	カナダ		2	
		台湾	1	不明		2	
		不明	3				
生活言語としての日本語指導の必要のある児童生徒数	1						
学習言語としての日本語指導の必要のある児童生徒数	15						

- (2) 外国籍児童生徒在籍校への日本語指導に関する情報提供及び書籍の貸出
- (3) 外国籍児童生徒在籍校への学校サポーター1名の配置（中学校1校）
- (4) 岩手県、日本語指導教員加配1名の配置（小学校1校）

○OKEK等の講師による中学校 ILC 特別授業の実施（ILC 推進課）

○中学生最先端科学研修（つくば市）の実施（平泉町との合同実施）

(1) 目的

市内の中学生が最先端の科学技術とそれに携わる研究者の努力に触れることにより、科学技術に対する理解を深めるとともに、次代を担う人材の育成を図る。

(2) 期日

平成29年8月7日（月）～平成29年8月9日（水） 2泊3日